

9

大きくなりました

## 14 小学4年生メロン収穫体験

沼田小学校（中川浩之校長）の4年生を対象とした、メロンの収穫体験が行われました。

この収穫体験は農業女性グループ「農天氣の会（藤村富士子代表）」が主催し、子どもたちに沼田の農業に触れてもらい、食べ物が作られる過程を学んでもらうために毎年実施しています。

今回は6月に定植、8月に皿敷をしたメロンの収穫を行い、収穫したメロンと追熟したメロンの食べ比べや、グループに分かれメロンシャーベットを作ったりし、子どもたちは「とても美味しい」「こんなに美味しいメロンが採れるんだ」など沼田農業の素晴らしさを実感していました。



9

インターネットで中継

## 16 中学生が町議会をオンライン傍聴

沼田中学校（米倉卓司校長）の3年生が社会科の授業の一環で、町議会をインターネットを活用した中継で傍聴しました。従来は議会を訪問し実施していましたが、新型コロナウイルス感染対策で中学校向けに特別にネット中継したものです。

町議会の一般質問を傍聴した3年生は、普段見ることができない町議会の様子を見て、わからないことや疑問に思うことなどを一人に1台配布されているタブレット端末で調べながら興味深く見ていました。



9

町民の安心安全のために

## 17 秋の地域安全防犯交通安全運動出動式

9月17日（金）秋の全国交通安全運動（21日から30日）を前に、ゆめつくる駐車場で、防犯協会沼田支部（石田隆広支部長）「夜高パトロール隊」による、秋の地域安全運動出動式が行われました。

出動式には、坂本久和交通安全協会長、宮脇英樹自治振興協議会長のほか、警察署員、道路管理者など12名が出席し、石田支部長が「コロナ感染の減少傾向により、今後人の動きが活発になれば、事故はいつ起きてもおかしくない。隊員皆さんの、見回りをよろしくをお願いします。」と挨拶されました。

出動式終了後、旗の波運動を行いパトロール隊員はそれぞれ交通安全指導車を先導に、認定こども園・小中学校方面に向けてパトロールに出発しました。



## 9 / はじめての体験もバッチリ 17 小学校稲刈り体験学習

J A北いぶきの協力のもと、沼田小学校（中川浩之校長）の5年生による稲刈り体験学習が行なわれました。天候にも恵まれ、春の田植え体験で植えた苗は順調に育ち、この日無事収穫することが出来ました。

児童たちは稲を鎌で刈り取るのは初めての体験でしたが、鎌の扱いも徐々に慣れて、予定されていた時間で刈り終えることができました。

刈り終えた稲は、小学校の裏に設置した「はさ木」に「はさがけ」し、乾燥した稲は、脱穀し、粃摺り、児童にプレゼントされる予定です。



## 9 / いよいよ事業着手 22 タスマン株式会社が新工場を開所

沼田工業団地に進出予定で液体噴霧器部品製造販売を手掛ける、タスマン株式会社（多田宏代表取締役社長）が、旧柔剣道場を改修し創業する、新工場の開所式を行いました。

工場は各機材が設置され、液体噴霧器の製造を一貫して行うことが可能で、このような設備は北海道で初とのことでした。

多田社長は「北海道のユーザーも増えており、本州から送っていると納期も不安定であったが、北海道に拠点を持つことで様々なことが解決されていく」と話され、横山町長は「本町の施設を活用した新しいビジネスの始まりであり、行政として精一杯協力していきたい」と話しました。

工場は10月1日から稼働し、工業団地で事業を開始する頃には従業員を10から15人雇用する予定です。



## 表彰 徳盛千穂子さん 空知総合振興局長表彰

平成19年から13年以上、民生委員児童委員として地域福祉に貢献されている、徳盛千穂子さん（仲町東）に空知総合振興局長表彰が9月22日、横山町長から伝達されました。

伝達式で横山町長は「長年に亘り活動をされた成果です。今後も町民安心のために活躍してください」と話しました。



## 10/3 気分爽快 明日萌・ほたるの里ウォーキング

健康増進と秋の深まる景色を楽しんでもらおうと、沼田町明日萌・ほたるの里ウォーキングを開催しました。

この日は、前日の雨と打って変わって好天に恵まれ、出発地点となる役場駐車場に、子どもから大人まで120名が参加しました。コースは、参加者が自身の体力に合わせて9キロコースなど3コースで行われてウォーキングを楽しみました。

コースの途中には、ライオンズクラブによる特設給水所も設けられ、参加者はめいめいに休憩を取りつつ、収穫が終わった田園風景を眺めながらゴールに向かって足を運び、短い秋の一日を満喫していました。



## 10/5 体験を通して学びました 中学2年生職場体験

中学生へのキャリア教育を目的とした職業体験が、町内の事業所9ヶ所の協力で行われました。

中学2年生の18名は、各事業所で指定された服装に着替え職場体験に臨み、初めての職場体験を経験しました。

ほたる薬局では、植木晶絵薬剤師から、薬剤師の仕事についての説明の後、薬棚の分類説明、調合の仕方、レジの計算などの体験を行いました。体験をした山崎理優斗君は「薬局で薬を調合してお客様にお渡しする流れが理解できました。限られた時間ですが、しっかり仕事をしたい。」と語っていました。

